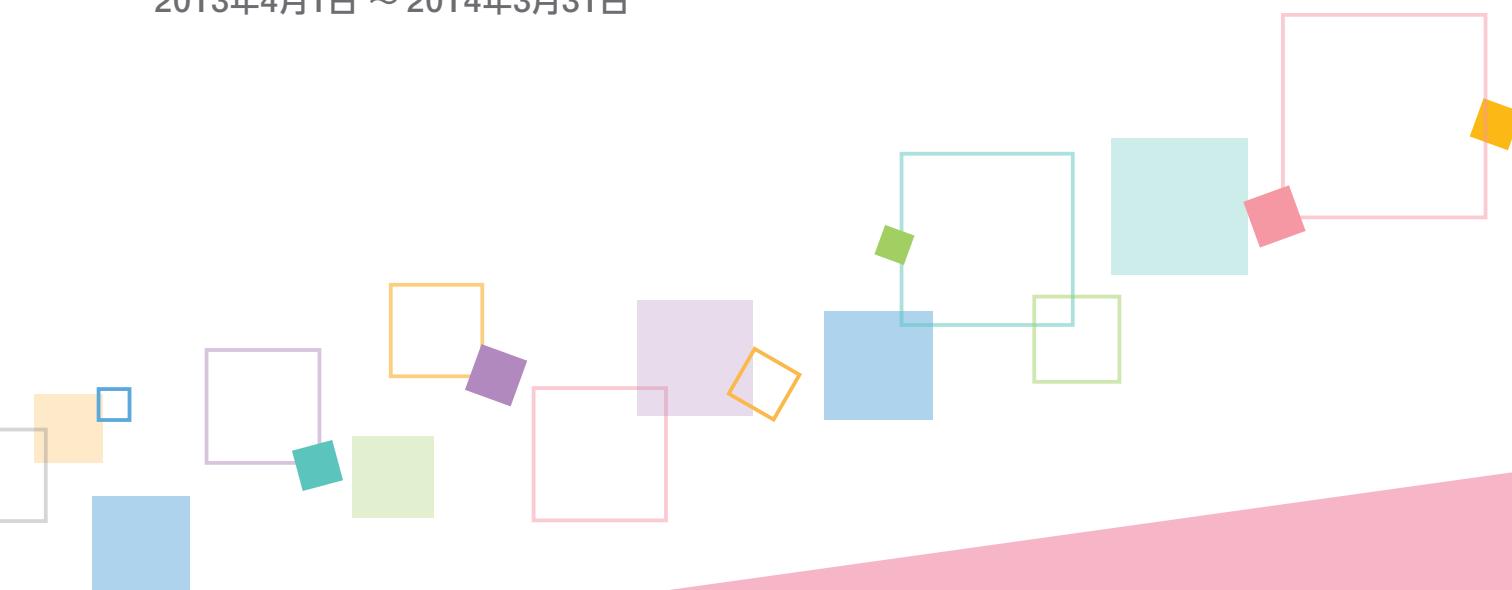




株式会社ベネフィット・ワン

第19期 報告書

2013年4月1日 ~ 2014年3月31日



2013年度決算のポイント

売上高200億円台、利益は30億円台の過去最高益を達成

売上高 **203.6**億円

経常利益 **31.5**億円

総会員数 (2014年4月) **602**万人

- 主力の福利厚生事業は再び成長軌道へ
- パーソナル事業は着実に伸張
- ヘルスケア事業は大幅な増収
- インセンティブ事業は増収減益

2014年度業績予想のポイント

売上高、利益ともに2桁台の成長率を維持

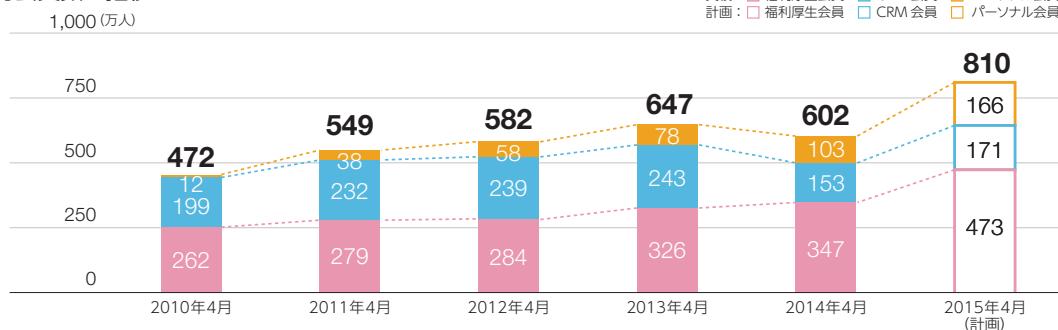
売上高 **235**億円

経常利益 **36**億円

総会員数 (2015年4月) **810**万人

- 福利厚生事業は利益横這い
- インセンティブ事業は再躍進
- パーソナル事業は第二の柱へ
- ヘルスケア事業は地固めに注力

■ 総会員数の推移



来場者数
延べ
26万人!

東北六魂祭 2014

仙台・盛岡・福島に続き4年連続の参画

2014年5月24日(土)・25日(日)の2日間、山形県山形市にて「東北六魂祭2014山形〜いざ、新しい東北へ〜」が盛大に開催されました。

2011年の仙台市から始まった東北六魂祭も今年で4度目となり、今年も6祭りパレードの他、当社運営の「ベネフィット・ワン広場」などでは大勢のお客様にお越しいただき大盛況に終えることができました。

また今年初の音楽イベント「六魂Fes!」を開催し、24日は日本を代表する豪華アーティストたちが奏でる音楽で会場を湧かせました。そして25日は山形を中心とした東北の方約6,000名をご招待し、スペシャルライブ「六魂Fes!×GLAY Special Live powered by Benefit one」を行い、会場内は歓喜と感動に包まれました。

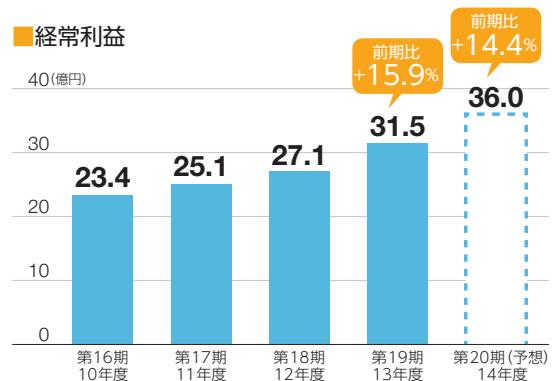
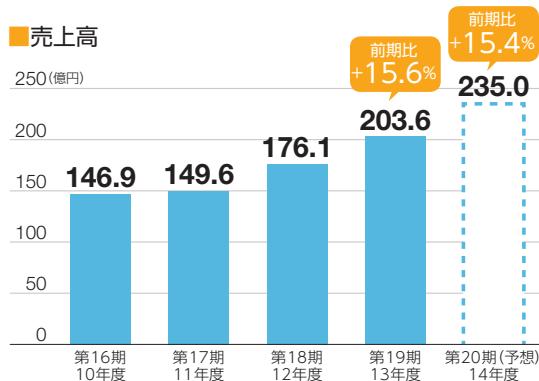
今後もさまざまな形で皆様に感動と喜びと笑顔をご提供できるサービスやイベントをご提供してまいりますので、引き続きご支援の程よろしくお願いいたします。



Top Message

収益の多角化とともに
海外事業も本格化。
2桁台の成長率を維持し
4期連続の増収増益を
目指します。

代表取締役社長 白石 徳生



2014年度 主要事業の重点施策

※ 福利厚生事業 ※

2014年度 売上高 131億円／営業利益25億円
(前期比+5.6%) (前期比+0.9%)

2013年度は、会員数獲得が順調に推移したことで会費収入は100億円を突破し、コンテンツの充実やサービス利用率向上に伴う費用の増加も吸収しながら、営業利益は前期比16.1%増の25億円を達成いたしました。

2014年度は、引き続き大手民間・官公庁への提案営業を推進するとともに、中堅・中小企業マーケットでの新規獲得に注力してまいります。代理店網の活用や地方エリアへの新たな営業拠点の開設により販路を拡大するとともに、積極的なDM配信やセミナー開催でプロモーションを強化することで、認知度向上に努め導入機運づくりに取り組んでいきま

す。あわせて、労働人口減少時代に向けた優秀な人材の確保や定着率の向上を目的としたマネジメントツールとしての福利厚生の役割を積極的にPRしていくことで、福利厚生アウトソーシングの市場拡大を推進してまいります。

※ インセンティブ事業 ※

2014年度 売上高 30億円／営業利益3億円
(前期比+67.2%) (前期比+158.8%)

2013年度は、前期から積み上がったポイントが堅調に交換に転じたことで売上は増加する一方、新規顧客の獲得不振や体制増強によるコスト増加等の影響から、営業利益は減益となりました。

2014年度は、前期の結果をふまえた営業戦略の見直しを

CLOSE UP ①

サービスの差別化・拡充

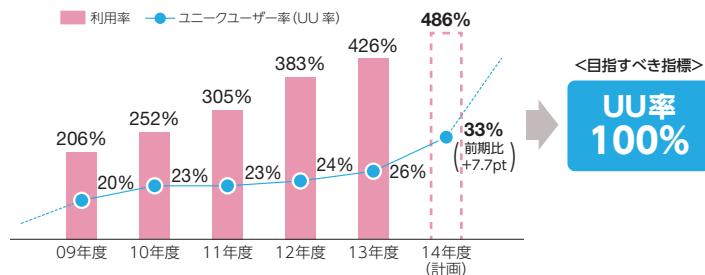
ユニークユーザー率※向上による顧客満足度向上

当社では「サービスの利用率向上」を経営課題に掲げ、メニューラインナップの拡充や利便性の向上、情報提供メディアの充実、サービス格付け機能の強化などを順次推し進めております。

顧客のニーズに対応したコンテンツの開発や高品質なサービスの提供を続けることで、利用者の満足度を高め顧客との関係性を強化し、競合他社との差別化を図りながら、さらなる会員獲得に努めてまいります。

※ユニークユーザー率とは、ベネフィット・ステーションを利用したユニーク会員数を、全体会員数で除したものです。

■ベネフィット・ステーション利用率とユニークユーザー率



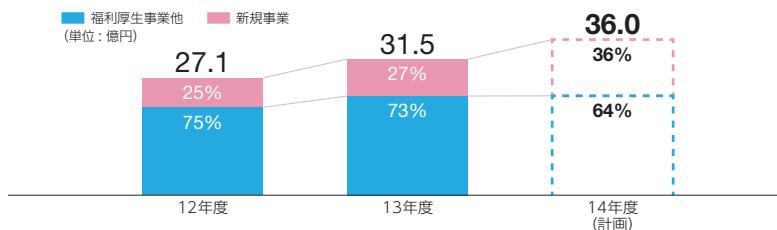
CLOSE UP ②

収益の多角化

新規事業の利益が 全体に占める比率は約4割

当社では、福利厚生事業で培ったサービスインフラを多重的に活用しながら新規事業を立ち上げ、収益の多角化を推進しております。

■収益構造の変化～経常利益に占める比率の推移～



図り、上層部へのルート営業を強化しトップダウン型の提案を推進することでクロージングまでの期間を短縮していきます。また、代理店提携やグループ内クロスセルの推進で効率的な営業を展開するとともに、他事業との合同セミナー開催や業界カンファレンスへの参加を通じ新たな価値を訴求し認知度を高めることで、他社に先駆け早期に市場シェアを獲得し、成長スピードを加速していきます。

＊ パーソナル事業 ＊

2014年度 売上高 16億円／営業利益5億円
(前期比+41.0%) (前期比+19.5%)

2013年度は、着実な会員数積み上げで売上は2.6億円増加し、事業立ち上げからの約4年間で会員数は100万人を突破いたしました。通信・不動産・フィットネス等、重点ターゲット業界での横展開により順調に取引先も拡大しております。

2014年度は、引き続き主力のソフトバンクグループとの取引拡大を見込むとともに、流通業界との取引においてリア

ル店舗での新規入会を促進するなど、協業会社との新たな取り組みにも積極的に挑戦し、サービスの付加価値を高めていきます。

＊ ヘルスケア事業 ＊

2014年度 売上高 34億円／営業利益3億円
(前期比+2.5%) (前期比+39.9%)

2013年度は、福利厚生とのクロスセル拡大により健診事業や新規事業を中心に伸張し、大幅な増収を達成いたしました。

2014年度は、データヘルス計画に基づく分析から評価までのワンストップサービスの拡販や、ストレスチェックを基軸としたメンタルヘルス分野と健診事業のシェア拡大など、新たなサービス開発を積極的に進め他社との差別化を図ることで、2015年度の事業拡大に向け攻めの営業体制を再構築していきます。また、前期からの繰り越しとなった新システムの稼働によりオペレーションの効率化を図ることで、利益率の改善を推進してまいります。

CLOSE UP ③

グローバル展開

日本発のビジネスモデルを世界へ発信

国内での成功モデルやノウハウを活用しながら、今後もグローバル規模での市場開拓を積極的に進めていきます。そのために、海外展開ノウハウの早期習得やシステムの構築、人材の育成強化に加え、新たな挑戦をし続けるべ

ンチャー精神の維持を図ることで、グローバル事業の育成を加速化していきます。また、市場開拓のみならず、現地化されたサービスを国内へも取り込んでいくことで、新たなブランドの確立と競合他社との圧倒的な差別化を図っていきます。

設立時期	商号	出資者	事業内容
2012年 5月	ベネフィット・ワン上海 Benefit One Shanghai Inc	当社100%	インセンティブ事業等
10月	ベネフィット・ワンUSA Benefit One USA, Inc.	当社100%	インセンティブ事業等
2013年 10月	ベネフィット・ワン アジア(BOA) Benefit One Asia Pte.Ltd.	当社60% 伊藤忠商事40%	アジア地域進出・統括事業 福利厚生事業等
2014年 1月	ベネフィット・ワン タイランド Benefit One(Thailand) Co., Ltd.	BOA49% 現地銀行団51%	インセンティブ事業等
2月	中華ベネフィット・ワン(CBO) Chunghwa Benefit One Co., Ltd.	BOA50% 中華電信50%	福利厚生事業 CRM事業 インセンティブ事業等
5月	ベネフィット・ワン インドネシア PT.BENEFIT ONE INDONESIA	当社1% BOA99%	インセンティブ事業等

2012年度
海外進出元年
上海・サンノゼへ独資で展開

2013年度
アジア地域へ進出
伊藤忠商事と合併会社を設立

2014年度
海外事業本格化
上海・BOA・CBOを連結対象に
本格組み入れ

株主様へのメッセージ

当社は、利益配分につきましては株主の皆様への還元を第一とし、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

上記方針のもと、直近の業績をふまえ2013年度の期末配当は、当初計画の1株当たり17.5円から21円（連結配当性向45.4%）へ増配いたしました。なお、2014年度につきましても、投資・内部留保のバランスを鑑み、同額の1株当たり

21円の配当を計画しております。

私たちは、「『良いものをより安く、より便利に』、サービスの流通創造を通して人々に感動と喜びを提供する」を企業理念に、顧客のニーズにお応えし、社会の発展に貢献する所存でありますので、今後も皆様からの変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

株主優待 お得情報

—ベネ・ステの嬉しい特典をご紹介します—



携帯しておく
何かと便利!

会員証を見せるだけで、
あのお店でも**会員特典**で**割引**に!
会員証を見せるだけで特典が受けられるメニューが

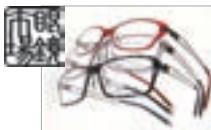
約**16,800**店舗! ※2014年5月時点での情報となります。

会員証呈示おすすめメニュー

No.650170
眼鏡市場

通常特典

コンタクトレンズ、
メガネ、サングラス
通常金額より**5%OFF**



No.650768
IDC大塚家具

通常特典

商品購入金額(税抜)の
3%分ベネポプレゼント
IDC大塚家具



No.625303
スポーツクラブNAS

通常特典

総合スポーツ施設利用料金
970円/回
法人月会費制会員
8,208円/月



No.652900
ABC空港宅配

通常特典

(例) 空港宅配サービス
(関東→成田空港)
2,160円~ **300円OFF**



No.625097
ヴィクトリア

通常特典

商品購入金額から
5%OFF
Victoria



お財布のカードを増やしたくない方は

スマートフォンの Web会員証

スマートフォンサイトへアクセスし、
お気に入り登録!

PC・スマホ・携帯から

ベネフィット で **検索**



URLはこちら ▶ <https://bnft.jp>

Step1

スマートフォン
ページにアクセス
しログイン。



Step2

画面下の「Web
会員証を表示」
をタップ。



Step3

表示された
Web会員証を
見せるだけ。



※サービス内容は予告なく変更となる場合がございます。※価格変動による最新料金やキャンペーンは会員専用HPをご確認ください。
※指定の方法以外でご利用いただいた場合、特典が適用されませんのでご注意ください。

株主優待のご案内

毎期末の株主名簿に記録された株主の皆様へ、当社商品の福利厚生サービス(宿泊施設・スポーツクラブ・育児・介護・グルメ等の各種サービスが割引料金で利用可能)を提供いたします。

【保有株式数別優待の内容】

100株以上2,000株未満	「ベネフィット・ステーションスタンダードコースA」	1名様分
2,000株以上	「ベネフィット・ステーションゴールドコースB」	1名様分

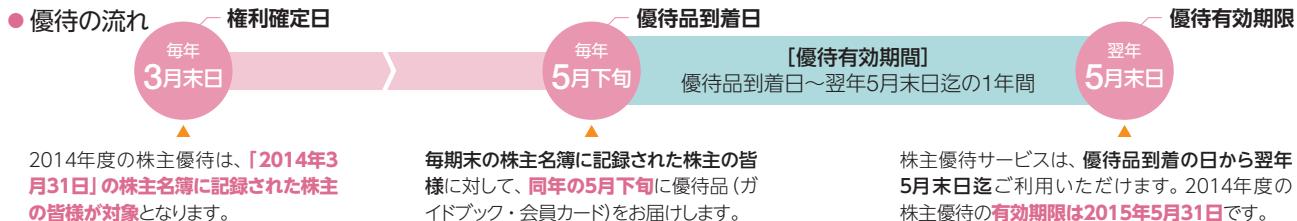
※提供コースは保有株式数に応じて異なります。ゴールドコースBとは、スタンダードコースAのサービス内容をさらに優遇させたものです。

※会報誌は優待品に含まれません。会報誌の内容につきましては、
会員専用ホームページ(<http://www.benefit-one.co.jp/>)をご参照ください。

※2014年度の会員証・ガイドブックが未着の方は下記アドレスまでご連絡ください。
経営企画室 ir_inquiry@benefit-one.co.jp

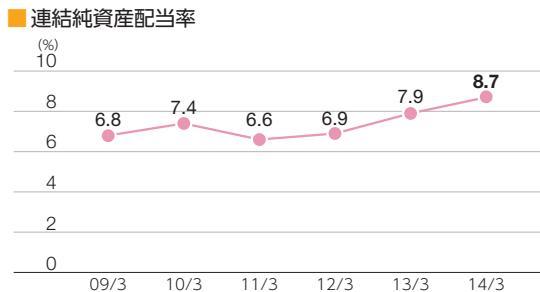


※写真のガイドブックは2014年度のものです。



配当政策

利益分配につきましては株主様への還元が第一であり、具体的な指標として年間の純資産配当率を5%以上にすることに加えて、配当性向40%台を目標に運営を心がけ、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としています。



※ 2013年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。
上記は当該株式分割を考慮し遡及修正を行った金額を記載しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	第19期	第18期
	[2014年3月31日現在]	[2013年3月31日現在]
資産の部		
① 流動資産	12,369	11,675
固定資産	6,110	4,641
有形固定資産	2,348	1,956
無形固定資産	1,589	1,236
投資その他の資産	2,172	1,448
資産合計	18,480	16,316
負債の部		
流動負債	7,349	6,757
固定負債	486	331
負債合計	7,836	7,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,527	1,522
資本剰余金	1,467	1,462
利益剰余金	9,101	7,924
自己株式	△ 1,730	△ 1,730
株主資本合計	10,366	9,179
その他の包括利益累計額	103	47
少数株主持分	173	-
純資産合計	10,644	9,227
負債純資産合計	18,480	16,316

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第19期	第18期
	[2013年4月1日から 2014年3月31日まで]	[2012年4月1日から 2013年3月31日まで]
売上高	20,356	17,610
売上原価	12,818	10,922
売上総利益	7,538	6,688
販売費及び一般管理費	4,368	3,956
営業利益	3,169	2,731
営業外収益	49	33
営業外費用	73	49
経常利益	3,145	2,714
税金等調整前当期純利益	3,145	2,714
法人税、住民税及び事業税	1,324	1,082
法人税等調整額	△ 66	7
少数株主損益調整前当期純利益	1,887	1,623
少数株主損失(△)	△ 4	-
当期純利益	1,892	1,623

ポイント解説

ポイント① 流動資産

流動資産は694百万円増加し12,369百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少54百万円、売掛金の増加238百万円、前払費用の増加119百万円等によるものであります。

ポイント② 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,211百万円の増加(前期は2,631百万円の増加)となりました。資金増加の主な内訳は、税金等調整前当期純利益3,145百万円、減価償却費499百万円、仕入債務の増加額163百万円、前受金の増加額244百万円等によるものであります。資金減少の主な内訳は、売上債権の増加238百万円、預り金の減少399百万円、法人税等の支払1,056百万円等によるものであります。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第19期	第18期
	[2013年4月1日から 2014年3月31日まで]	[2012年4月1日から 2013年3月31日まで]
② 営業活動による キャッシュ・フロー	2,211	2,631
③ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,717	△ 1,821
④ 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 555	△ 2,095
現金及び現金同等物に係る 換算差額	5	-
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 56	△ 1,284
現金及び現金同等物の 期首残高	6,624	7,908
現金及び現金同等物の 期末残高	6,567	6,624

ポイント③ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは1,717百万円の減少(前期は1,821百万円の減少)となりました。資金減少の主な内訳は、有形・無形固定資産の取得による支出1,103百万円、関連会社・非連結子会社等関係会社株式の取得による支出322百万円等によるものであります。

ポイント④ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは555百万円の減少(前期は2,095百万円の減少)となりました。資金減少の主な内訳は、配当金の支払715百万円等によるものであります。

IRに関する詳しい情報は

ホームページにおいてもIR情報の発信を行っておりますので、こちらもぜひご覧ください。



ベネフィット・ワン IR

検索

会社概要 (2014年3月31日現在)

会社名	株式会社ベネフィット・ワン
設立	1996年3月15日
資本金	15億27百万円
本社所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷三丁目12番18号 渋谷南東急ビル
従業員数	955名(連結)

役員
(2014年6月26日現在)

取締役会長	南部靖之	取締役	上斗米明
代表取締役社長	白石徳生	取締役	久保信保
取締役副社長	鈴木雅子	常勤監査役	加藤佳男
常務取締役	野曾原浩治	監査役	後藤 健
取締役	太田 努	監査役	藤池智則
取締役	若本博隆	監査役	中川 惇
取締役	仲瀬裕子		

株式情報 (2014年3月31日現在)

発行可能株式総数	140,000,000 株
発行済株式の総数	45,144,000 株 (自己株式 4,167,600株を含む)
株主数	9,053 名

大株主

株主名	所有株数(株)	議決権比率(%)
株式会社パソナグループ	22,302,600	54.43
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1,905,800	4.65
白石 徳生	1,350,400	3.30
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニパス アカウント	866,600	2.11
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505224	700,000	1.71
伊藤忠商事株式会社	613,800	1.50
ビービーエイチ マシュエーズ ジャパン ファンド	490,100	1.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	481,400	1.17
ビービーエイチ マシュエーズ アジア グロウス ファンド	462,600	1.13
株式会社ホワイトアンドストーン	449,600	1.10

※上記のほか、当社が保有している自己株式4,167,600株があります。
議決権比率は、自己株式を控除して算出しています。

株式分布状況



● 株主メモ ●

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して
 定めた日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 Tel 0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法 電子公告にて当社のホームページに掲載する。
<http://www.benefit-one.co.jp/>
 ただし、やむをえない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所